

資料3

中和

本日も議論いただきたい内容

1 各構想区域における、機能(高度急性期・急性期(重症・軽症)・回復期・慢性期)毎の過不足感(現状および見通し)

- 奈良県全域で、2025年の機能別の必要病床数と今年度集計した将来(2025年)の見通しの病床数が概ね一致していることを踏まえ、**病床数の集計値だけではわからない機能毎の過不足感**が地域にないか。

2 各病院の具体的対応方針に対する意見

- 再検証対象病院(済生会御所病院)
- 上記以外の病院

- 上記1も踏まえ、各病院が構想区域において**担おうとする役割と機能毎の病床数の方向性に問題点がないか**。また、それぞれの病院に**今後さらに期待すること**は何か。

3 質の向上に向けた課題や取組

- 断らない病院・面倒見のいい病院・在宅、のスムーズな連携を行うため、**地域の役割分担や情報共有の仕組み**をどのように構築・改善していけばよいか。(ICTを活用した患者情報・空床情報の共有、救急医療における役割分担の工夫、顔の見える関係づくり、等)
- 地域包括ケアシステムの強化に向けて、「面倒見のいい病院」を中心に、**病院はどのように在宅医療をバックアップ**していけばよいか。(増悪時の受入、ACPへの取組、リハビリ等)
- **新型コロナへの対応により明らかになった**、地域での役割分担の課題や進んだ取組はどのようなものか。

地域医療構想における各病院の具体的対応方針について、了承することとして良いか